

平成22年度法人運営目標・実行プラン



運営目標

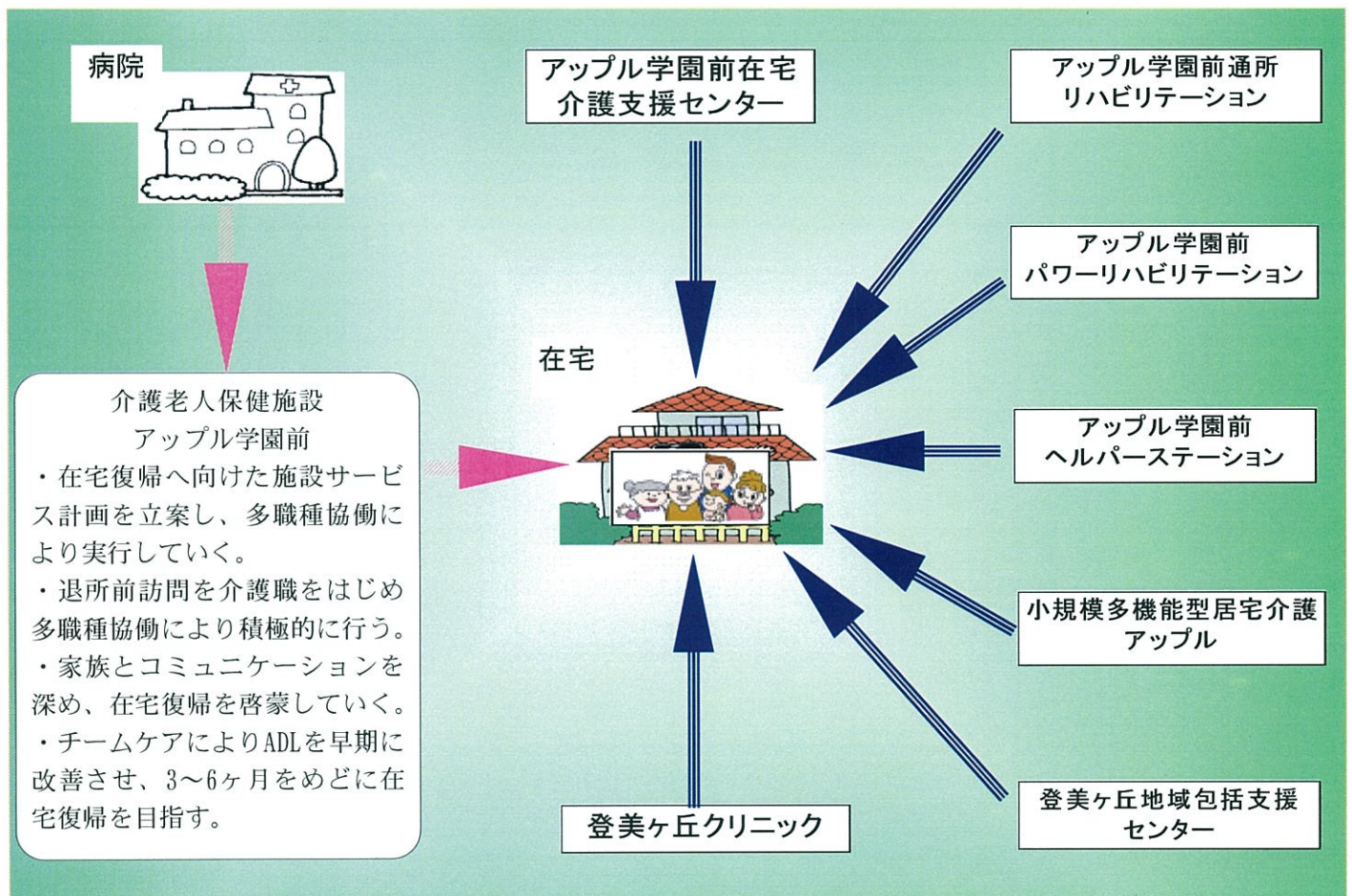
施設部門を中心に取組みを進めている在宅復帰の流れを確立させるとともに、居宅部門では新たな価値を創造し、さらなる在宅支援の充実を図る。



運営実行プラン

1. 在宅復帰・在宅支援の推進

- ①地域の医療機関と連携を深め、地域に根ざし頼られる施設をめざし、病院⇒老健⇒在宅の流れをつくる。
 - ②クリティカルパスを作成し、多職種協働で計画立案し、実行する。
 - ③在宅復帰後も、より質の高い在宅サービス（リハビリも含め）を提供する。
 - ④家族や地域との交流を充実させる。
- パンフレットやアップル通信により当法人の強みや特徴を地域に発信していく。



2. サービスの質の向上

①仕事のやりやすさとやりがいを高める。

- ・自部門の強み・弱みを分析して、サービス改善に役立てるとともに、他にはない特徴をつくる。
- ・業務効率を上げ、専門職に見合った仕事内容に改善する。
- ・各種委員会を活性化させる。

②リスクマネジメントを徹底する。

- ・リスクマネジメントマニュアルを作成する。

発生しうるリスクについての予防策や発生時の適切な対応策についてまとめる。



・権利擁護	・虐待防止	・転倒などの介護事故	・身体拘束
・感染症	・自然災害	・苦情	・個人情報
・プライバシー	・交通事故	・介護保険法順守 など	

③ 環境整備を徹底する。

ご利用者が生活する場、私たちが働く場を清潔に保つ。

3. 個々の職員の能力と組織力の向上

①メンタル面を含め、職員の健康管理を徹底する。

②マナーを徹底する。

③教育研修を充実させるとともに、職員は勉強会や研修会に積極的に参加するなど自己啓発を行う。

④管理監督者はリーダーシップを発揮し、部門員は部門運営に協力し、コミュニケーションによって問題解決を図る。

4. 経費削減

5. その他

以上